

詠む広場

毎日俳壇

片山由美子 選

爪立ちの子につけらる赤い羽根

東京 徳原 伸吉

△評▽募金活動をしている子どもたち。その中には、背伸びをしないとおとなの胸に手が届かないような幼い子もいるのである。

定位置に座布団二つ置炬燵

鴻巣市 荻野 道宏

△評▽座布団が向き合うように置かれていたのだらう。冬の闇、生活の中心となるこたつの部屋。バス降りてしばらく歩く秋日和

岡山市 仲野 恒彦

這ひはひの目増しに速し秋日和

北九州市 篠原 敬祐

泣き疲れ眠る子の手に木の美かな

津山市 森下 弘

甲問の真珠ひやりと星月夜

加古川市 伏見 昌子

ふるさとの駅に降り立つ豊の秋

春日市 林田 久子

満員のバスの揺れをり秋暑し

飯塚市 倉田 幸男

蕎麦咲いて祈りのやうな日さかな

町田市 枝澤 聖文

灯を消して二人だけなる星月夜

北九州市 宮上 博文

小川 軽舟 選

奥能登の塩盛る餅や今年酒

さいたま市 関根 道豊

△評▽奥能登の塩田は地震で休業を余儀なくされたが、今年生産が再開された。酒好きらしい飲み方で新酒を味わう。

就活のスーツの肩に赤蜻蛉

京都市 古川麻美子

△評▽会社訪問にくたびれたのか。ベンチに座り込む若者を赤とんぼが励ますようだ。

日記買ふもう来年のことばかり

飯塚市 和田みづ紀

蟋蟀や妻とき後の台所

仙台市 鎌田 傑

大和路や花野をゆけばまた花野

東京 関口 昭男

廃業の健康ランド今日の月

藤沢市 佐藤 一夫

火を使ふ人間の知恵栗甘し

小田原市 林 梢

図書館に弟探す秋の暮

宮崎市 渋谷 由鷹

秋雨やノスタルジーに浸る夜

茅ヶ崎市 戸川 香織

一条の光消えゆく冬の滝

大分市 赤峰 宏史

西村 和子 選

みつろみはみつから暮るる庭の花

加古川市 中村 立身

△評▽山の影や雲のせいではなく、自分から暗くなつてゆく描写して、暮れ残っているアシの花のほのかな明るさを想像させる。

満月や音一つなき鏡池

つくば市 村越 陽一

△評▽「波」と言わず「音」と言つて静けさを表し、間接的に水面の月を描く。池の名も効果的。

子らも呼び祭のごとし秋収

長野市 中沢 義壽

満腹と言ひて残さず宵飯

西宮市 平田 あい

一階に酒肆二階には夜学の灯

志木市 谷村 康志

敵立てて吉日待ちて大根時く

鴨川市 富川 康雄

バスを待つひとりの秋の夕

三郷市 村山 邦保

乗り継いで果ては一輛秋の雲

明石市 木村憲一郎

秋澄むや途中下車して海を見に

横浜市 瀬古 修治

稲の香に包まれ訪ひめ伎芸天

兵庫 小林 恕水

井上 康明 選

鳥と星重なり合へる紅葉かな

相模原市 はやし 央

△評▽紅葉の華やきを星の鳥声、夜の星の光とともに表現した。紅葉の山野は、星は鳥が鳴き、夜には満天の星に包まれる。

外海の風のうねりや星月夜

逗子市 上東 香海

△評▽星が月夜のように明い砂浜に立ち、外海の風が吹き舞う音を聞いているのだらう。

重力の姿美し鳥爪

延岡市 河野 正

黒部湖や眠りに落ちて雪の中

前橋市 西村 晃

鱸飛ぶや水影青き空の上

東京 高木 靖之

山は雲を掴みて冬近し

唐津市 梶山 守

一本の揺るる木のあり神の旅

富士宮市 渡邊 春生

木の葉散るベンチにチューバ吹く男

静岡市 小川 健治

色無き風五浦六角堂を抜け

鎌ヶ谷市 佐藤 紀子

硬き闇木犀の香にほぐれけり

川越市 峰尾 雅彦

アプリで

推し短歌

アプリ「57577」の投稿からユーザー人気をふまえて歌人の天野慶さんが選歌と評を担当します。アプリは右のQRコードまたは<https://tanka.one/>からダウンロードできます。



短歌アプリ

57577



お題「風」

金木犀まじりの風が気まぐれに再起動する思い出フォルダ Umi

キンモクセイの咲く頃は行事のハイシーズンです。遠足や運動会、文化祭。すてきな香りの中で、たくさんの記憶が刻まれてゆきます。そして時はたち、ルーティンをこなす生活の中で、ふと何かが動き出す音がする……。『再起動』の一語が、くっつき表現を個性的にしています。そよ風が膝をくすぐるもう居ない犬の尻尾と似た風速で、あ、と膝を見る。何もない。でも確かに感じた懐かしい感触。うれしくてさみしくてでもやっぱりうれしい風です。ただ一瞬のそよ風を、自分だけの優しい風ととらえた歌は、読んだ人の心に住むいろんな毛並みや模様のしっぽのことを思い起こさせてくれるでしょう。

放課後の自転車置き場で会う時の風の匂いをよく覚えてる ゆか氏

マドレーヌを紅茶に浸したときに、子どもの頃を思い出す主人公がいるように「記憶」と「香り」は特別に結びついていきます。さらにそこに「風」という動きが加わると、思い浮かべる光景がさらにドラマティックに。吹く場所のチョイスも素晴らしい、イメージが広がります。

次回のお題「雪」(12月16日掲載)